

跡見学園女子大学 学報



第50回学部卒業式・第12回大学院修了式は、3月18日(日)に文京シビック大ホールにて執り行われ、学部卒業生842名、大学院修了生19名が、自信に満ちた笑顔で本学を巣立っていきました。

また、4月3日(火)には第54回入学式が、新座キャンパス体育館にて執り行われ、この4月より新設された心理学部を加えて4学部となった学部新入生1,143名、編入学生3名、大学院修士課程1年生17名、計1,163名を新たに迎えました。

今年の桜の開花は例年になく早まり、3月24日の「桜まつり」の頃がちょうど満開でありましたが、入学式のときもまだずいぶん咲いており、新入生を歓迎してくれました。早咲きのものであれば遅咲きのももあり、それらを一括りにして「跡見の桜の季節」が成り立っている、ということを実感しました。これは、人間も同様で、早咲きの人がいて遅咲きの人もいて、でも最後はそれぞれが満開になります。大学は、そのための支援を惜しみません。ご期待ください。

記事内容

- 学長挨拶 (2)
- 副学長挨拶 ○役職者一覧 (3)
- 文学部長挨拶 ○マネジメント学部長挨拶 ○観光コミュニティ学部長挨拶 ○心理学部長挨拶 (4)
- 平成29(2017)年度就職活動総括と今後 (5)
- 国際交流活動の紹介 (6)
- 平成30年度新任教職員 ○大学を離れた方々 (7)(8)
- 留学の記 ○跡見学園女子大学機関リポジトリについて (9)
- ゼミ紹介 (10)
- 学生会情報 ○CLUB NOW
- 地域交流活動へのお誘い -多様な形での関わりが強い連携を生み出す- (11)
- 平成30年度入学試験を振り返って ○オープンキャンパスのご案内 (12)
- 心理学部設立記念シンポジウム (13)
- 行事予定 ○『跡見花蹊——女子教育の先駆者』刊行! ○資料館コレクション
- 平成30年度心理教育相談所講習会 ○編集後記 (14)

学長挨拶

新入生へのメッセージ

「一歩踏み出す勇気」の必要性

学長 笠原清志



跡見学園女子大学は、今年度、1,163名の新入生を迎えることになりました。本学に学ぶことになった学生の皆さんへ、学長としてのメッセージを贈ります。

今年の入学式では、跡見学園女子大学の歴史、そして学祖花蹊先生の教育理念について説明しました。そして、従来の規範や道徳といったものが大きく変化しつつあり、東日本大震災を見るまでもなく、その文明論的な危機の存在についても言及しました。このような時に大学生活をスタートさせるにあたり、皆さんに対して「一歩踏み出す勇気」の重要性について述べました。

私のささやかな経験からしても、誰でも人生で「一歩踏み出す勇気」を自分で決断する瞬間があると思っています。私は社会学を勉強していたこともあり、「生活の中の社会主義」、「労働の中の社会主義」という事に興味を持っていました。社会主義のイデオロギーの是非ではなく、社会主義の体制下で人々はどのように生活し工場の中ではどのように意思決定がなされているのか、という事が興味の対象でした。社会主義国に留学すると言うことは、1970年代末でもいろいろな意味で大変なことでした。私はセルボ・クロアチア語を勉強し1978年から1980年にかけて、現在は消滅してしまったユーゴスラビアという社会主義国に留学しました。当時の私は、社会主義国での庶民の生活をこの目で見てみたいという気持ちが強かったと思います。そしてどこかで「一歩踏み出す勇気」というものがあるとすれば、「今かもしれない」という気もしていました。この決断、つまりユーゴスラビアへの留学は、私にとって新しい世界を経験し、自らを見つめ直し、そしてグローバルな世界への窓を開くことに繋がったと思っています。

私は以前に勤めていた大学でも長く大学行政に携わっていました。その際に、2006年度にノーベル平和賞を受賞したムハマド・ユヌス博士（グラミン銀行）と2008年にヒルトン・ヒューマニタリアン賞を受賞したフアズレ・ハサン・アベッド博士（BRAC:バングラデシュ農村向上委員会）の名誉博士号授与式を担当しました。授与式を執り行うに際しては、日程の調整だけでなく各式典文書の内容についての調整が必要でした。多くの人たちが躊躇する中で、誰かが担当しなければならない状況でした。結局、私がその担当を引き受けることになりました。自らの決断というよりは、「一歩踏み出す勇気」を得ない状況での勇気」と言った方が適切であったと思っています。両博士はバングラデシュの貧困問題に自らの生涯をかけて闘い、マイクロクレジット（小額無担保融資）やソーシャルビジネスを通じて多くの貧困層を自立させ、その考え方や手法はバングラデシュを越えて世界の貧困層へのサポートのあり方に多大な影響を与えていることを理解できました。

現在、私は跡見学園女子大学で教育研究活動を行っていますが、夏休みや春休みにはミャンマーやバングラデシュで貧しさ故に学校に行けない子供達の就学支援の活動をしています。しかし、私自身、10年前にはこのような活動に従事するようになるとは、夢にも思っていませんでした。私の場合、この「一歩踏み出す勇気」、あるいは「一歩踏み出さざるを得ない状況での勇気」が、自分のキャリアから研究、そしてその後の生き方まで変えてしまったように思います。



バングラデシュ農村の子供達

人と人との出会いは偶然のように見えますが、その出会いも結果も偶然ではありません。自分が大切にしていたものが何かのきっかけで触発され、まるで見えない糸で導き出されるような形で一歩踏み出した結果でもあります。一歩踏み出し困難に直面し、「困ったなー、どうしよう」と何回となく自問し、解決を見出そうとするところから、他者との関係や自らの内面との対話が始まります。その経験が生きた知識になり、教養といわれるものの基礎を形成していくのではないのでしょうか。教養とは、いろいろなことを広く知っているということではありません。真の教養とは、「自分を見つめるもう一人の自分を、自らの内に持つ」ということです。学生生活では、「一歩踏み出す勇気」から学びが始まり、これからの人生のあらゆるドラマが始まります。

日本の文化を良く理解し、凛とした美しさを持った、そして「自律し自立した教養のある女性」を目指してこれからの学生生活をスタートしてください。皆さんのこれからの充実した学生生活を期待して、このメッセージを結びます。



副学長挨拶

教職員や学生の
知恵と行動力を結集したい

副学長 神山 伸弘

「大学の存立の危機」が叫ばれて久しいものがあります。それは、少子化という大状況での一般的認識です。有名国立大も例外ではありません。ただ、問題をそうした大状況に還元してしまうと宿命論に陥りますから、注意が必要です。その宿命を峻拒するなら、「跡見がどう進むのか」という理念を明確にしなければなりません。

こうした厳しい状況では、トップダウンにより迅速な決定を行い、大胆に改革を断行すべきだ、という議論がなされがちです。ただし、私が言うのもなんですが、「『トップ』が具合悪かったらどうするのか？」ということも、同時に考えておかなければなりません。

もちろん、「トップ」には、適切な方針を示す責任があります。ただ、同時に重要なことは、それを十分に吟味する仕組みも作ることです。その吟味のプロセスで異論も含めた議論を闘わせながら結論しなければ、「トップ」もだれもが確信を持ってないでしょう。

近年の大学ガバナンス改革で失敗に陥る典型的なパターンとして、次のような例が研究報告でも挙げられています。すなわち、トップダウンということで、教職員や学生に情報を十分に伝えず、それらの意見も聴かず、「トップ」が独走してしまう例です。私たちは、この轍を踏んではならない、と心底思います。

そうすると、次は、教職員や学生の意見をどう扱うのか、という姿勢が問われてくるでしょう。一般に、「発言には責任が伴う」という矜持の逆は、「責任を負う気がないなら発言するな」という強迫にもなりかねないことに、十分な自覚が必要です。これは、言行一致の美德を逆手にとって言論封殺する論理です。「言った者勝ち」とか「言い出しっぺにやらせる」とかいった悪弊も、そこから来ていることに思いを致すべきです。

いずれにせよ、議論を命とする大学人の本質を変質させてはならないと思います。また、議論に基づく大学自治を守り抜きたいと思います。議論は、行動のためにはもちろんその一致を求めますが、知恵としてはつねに多様でなければなりません。その多様性が瘦せ細れば、選択すべきカードも少なくなってしまう。けっしてそうならないようにしなければなりません。

教職員や学生の多様な知恵と熱意ある行動力を結集しよう、という理性的の言葉に耳を傾け、それを盛り立てるよう職務遂行することを肝に銘ずるところです。

副学長挨拶

歴史の流れの中で
教えること

副学長 イシカワ カズ

この度副学長を拝命いたしましたイシカワでございます。名前がカタカナ表記なのは本学着任前に使っていたペンネームをそのまま登録させていただいたからです。私は籍こそマネジメント学部に置いておりますが、学生時代はフランス文学を学び、広告業界で働いた後、クラシック音楽の制作に携わっていた人間です。ですからいわゆる実学とはやや離れたところにおり、ゼミ生たちにも「これを学んでこんな資格を取ればこういう人になれる」という指導はしておりません。「好きな事に熱中して感受性を高めセンスを磨けば世の中に出ても何とかなる」という教育です。その通りに努力してのびのび育った卒業生たちは皆それぞれの道で活躍しております。

私はクラシック音楽のコンサートやCDのプロデューサーを通して、多くの海外演奏家の巨匠たちの薫陶を受けることができました。その中で最も重要なことは音楽の解釈、つまり楽譜の読み方と演奏法についてであるということが言えます。例えば、同じように記されている楽譜でもモーツァルトはこう演奏し、シューベルトはこう、ブラームスはこうだ、と。そんな楽譜自体にはどこにも書かれていない事を、仕事の現場で学んで来たのです。そしてそういった巨匠たちが若い頃習った先生の先生、そのまた先生はリストの弟子であったりベートーヴェンの孫弟子であったりすることに驚かされます。決して大げさでなく、私もまた偉大な作曲家たちの教えの流れの隅っこに加わった一人になっていると言えるのです。そして私はその学んだことを今度は若い演奏家たちに教えます。私の言葉の中の私自身が気づかない所にベートーヴェンやリストの教えが入っているのかも知れないと思うとなんだかわくわくしてしまいます。

教育とは、そして人の世とは、こういうものなのではないでしょうか。花蹊先生が跡見学校を設立されてからおおよそ145年になるうとしているわけですが、今まで私は跡見花蹊先生と何のご縁も無く生きて来ましたが、しかし、古株の先生方や卒業生の皆さんとの交流の中で跡見の歴史を感じる事が多々あります。18歳人口が減り始め、どこの大学も学生の獲得に躍起になっていますが、跡見はより跡見らしくいることが大事ではないかと私は考えます。跡見は他の大学と違うのです。ではこの時代、「跡見らしさ」というのはどういうことなのか。それは大いに議論が必要です。古いものを守るだけではきっと花蹊先生は許さないでしょう。新しい時代に合った跡見らしさを生みだし教育に反映させることを、笠原学長、神山副学長とともに進めて行きたいと考えています。

役職者 一覧

(平成30年4月1日現在)

- 学 長 笠原 清志
- 副学長 神山 伸弘
- 副学長 イシカワ カズ
- 文学部長・人文科学研究科長 泉 雅博
- マネジメント学部長・マネジメント研究科長 宮崎 正浩
- 観光コミュニティ学部長 靄 理恵子
- 心理学部長 野島 一彦
- 全学共通科目運営センター長 鷹 咲子
- 図書館長 矢島 新
- 花蹊記念資料館長 村田 宏
- 情報メディアセンター長 イシカワ カズ
- 心理教育相談所長 松崎くみ子
- 事務局長(法人) 布留谷正幸
- 教務部長 横山 太郎
- 学生部長(保健センター所長兼任) 曾田 修司
- 就職部長 村上 雅巳
- 入試部長 中島 伸次
- 地域交流センター長 土居 洋平

文学部長挨拶

あなた自身の未来の創造に



文学部長・人文科学研究科長 泉 雅博

跡見学園は、明治8(1875)年に「跡見学校」として創立されて以来、今日まで143年の歴史を刻んできています。そのなかで文学部は、昭和40(1965)年に創設された女子大学の歴史とともにあり、53年の歳月を重ねてきました。

学園の創立者である学祖・跡見花蹊の目指した教育は、一貫して教養と芸術を重んじ、人としての品格と情操の涵養をはかるとともに、社会と実践的にかかわる自律し自立した女性の育成をはかろうとするものでした。文学部は、この跡見花蹊の教育理念を継承しつつ、時代の要請に応える形で改革をおこない、現在の人文学科、現代文化表現学科、コミュニケーション文化学科の三学科にいたっています。

この3月、『跡見花蹊 女子教育の先駆者』が刊行されました。幕末、明治、大正の、激動の時代を生き抜いた跡見花蹊の人生からたくさんのが学べます。今日、日本も世界も同じく、激動のただ中にあるといえるでしょう。しかし、恐れることはありません。跡見花蹊が激動の時代を生き抜き「女子教育の先駆者」として未来を切りひらいたように、文学部での学びによってあなた自身の未来の創造に取り組みましょう。三学科とも、そのために全力を尽くします。

観光コミュニティ学部長挨拶

「性差」より「個人差」



観光コミュニティ学部長 蘆 理恵子

私たちの学部では、「観光」と「コミュニティ」をキーワードに、社会学や文化人類学、経済史、宿泊産業論、都市計画等の観点から、人と観光、人とコミュニティについて学びます。学生を連れてフィールド(現場)に出かけることもしばしばです。その際、「女子大生の目線」で、「女子学生ならではの」等というジェンダー過多の期待をかけられることがあります。「大学生の」ではなく、「女子」が付くのです。

確かに、これまで男性中心で女性がほとんどいなかった領域に女性が入っていくことで、新たな気づきが生まれることがあります。女性と男性の視点が違うことが多いのは、これまで社会が作り出した男らしさや女らしさに沿って、私たち一人ひとりがそれぞれ女(男)らしく育てられてきたからです。決して生まれつき違っているからではないのです。

このことをうっかり見落とすと、本質主義(違いは運命的、変えられない)に陥ります。諸個人の視点の違い、考え方の違いは、「性差」より「個人差」。

身の回り3メートルの足元から国際社会まで、「私」と社会の相互連関性を意識しながら、「私」はどう生きていくか、「私」に何ができるか、学生たちと学び、考える日々です。

マネジメント学部長挨拶

社会で活躍する女性に



マネジメント学部長・マネジメント研究科長 宮崎 正浩

マネジメント学部の目的は、企業、公共、文化、生活環境など幅広い分野における、新しいマネジメントの知識や技能を修得し、現代社会の諸問題から解決すべき課題を自ら発見し、その解決策を提案できる能力を修得することです。

学部専門科目ではこのような能力を育成するために、理論と実践の融合を重視した、オリジナリティに富んだカリキュラムを用意しています。その最大の特徴は、2年次に10日間のインターンシップ実習を必修科目として組み込んだことです。これは、学生に早期から社会との接点を持たせ、社会で働く上で必要となる能力や態度を体験的に学び、3年次からの専門的・実践的な学習に繋げるために実施しているものです。3年次では全てのゼミがその研究や活動の成果を発表する学部発表会に参加します。4年次では全員が卒業論文に取り組み、課題発見・解決策提案能力を身に付けます。

マネジメント学部の学生は4年間このような授業に取り組むことで驚くほど大きく成長します。このことは卒業生の高い就職率に現れています。2018年度の就職率は99.5%で、全国平均を約2%上回りました。

世界も日本も急速に変化しています。学部では、このような変化の中で女性が社会で活躍するために必要な課題発見・解決策提案能力を身につけることを目的として、日々教育の改善に取り組んでいます。

心理学部長挨拶

心理学を人生・仕事・社会に活かす



心理学部長 野島 一彦

関東圏の女子大学では第1号の心理学部は、1学科(臨床心理学科)で平成30年4月にスタートしました。前身は、平成14年に創設された文学部臨床心理学科です。創設以来16年間の伝統をさらに充実発展させることと、心理の国家資格である「公認心理師」の資格取得に対応するために新設されました。

心理学部臨床心理学科は、心の問題が複雑化・多様化している現代において、人間の心についての広く深い知識とスキルをもとにして、人々の健康的な人生に寄与し、仕事に活かし、さらに豊かな組織と社会作りにも貢献する人材を養成することを目的としています。そしてこの目的を受けて、3つのモデル—①心理専門職(プロフェッショナル)を目指す女性、②心理学の知識・スキルを職業(ワーク)に活かすことのできる女性、③心理学的・臨床心理学的素養を人生(ライフ)に活かすことのできる女性—を例示しています。特色としては、学外の医療、教育、福祉、司法等の機関における実習があります。

心理学部第1期生の皆さん、心理学部で学ぶことをとおして、本学の理念である自律し自立した有能な女性として育っていかれることを強く願います。

平成29(2017)年度就職活動総括と今後

就職部長 村上 雅巳

<平成29(2017)年度就職活動の総括>

世界的な株価の上昇やインターネットを通じた個人消費の拡大などを要因として、ここ数年、日本の景気は拡大していると言われています。これに伴い、建設業界や運輸業界をはじめとする業界では、人手不足の状態になっています。就職白書2018(株式会社リクルートキャリア・就職みらい研究所)によると、2018年卒の新卒採用者を計画以上に確保できた企業は47.5%で、前年より2.7ポイント下降しており、採用予定者数を充足できた企業は減少しています。一方、学生側の入社予定企業に対する満足度は83.4%で、前年より2.6ポイント上昇しています。これらのことから、平成29(2017)年度就職マーケットは学生優位の売り手市場であったことが証明される形となっています。

このような状況を背景に、本学の学生における就職活動も、前年度に引き続き、優位に進められたと言えるでしょう。

求職率は93.3%で前年度と比べて3.7ポイント上昇、就職率は97.6%で1.8ポイントの上昇となりました(5月1日時点での比較)。特に求職率は文学部で4.0ポイント、マネジメント学部で3.0ポイント上昇し、学生が前向きな姿勢で就職活動に取り組んだことが読み取れます。また、就職者のうち正規就職者の比率は前年度と同水準であり、質を確保しつつも就職率は上昇しました。良好な外部環境に加え、各学生が本学の就職支援プログラムを積極的に活用したことで、平成29(2017)年度就職状況は全般的に好調であったと言えます。

平成29(2017)年度卒業生の就職実績

単位(人)

| 学科 | 卒業生数 | 求職者数 | 求職率 | 就職者数 | 就職率 |
|---------------|------------|------------|--------------|------------|--------------|
| 人文学科 | 179 | 162 | 90.5% | 155 | 95.7% |
| 現代文化表現学科 | 97 | 90 | 92.8% | 89 | 98.9% |
| コミュニケーション文化学科 | 87 | 83 | 95.4% | 78 | 94.0% |
| 臨床心理学科 | 100 | 81 | 81.0% | 77 | 95.1% |
| 文学部 | 463 | 416 | 89.8% | 399 | 95.9% |
| マネジメント学科 | 239 | 232 | 97.1% | 231 | 99.6% |
| 観光マネジメント学科 | 104 | 102 | 98.1% | 101 | 99.0% |
| 生活環境マネジメント学科 | 51 | 50 | 98.0% | 50 | 100.0% |
| マネジメント学部計 | 394 | 384 | 97.5% | 382 | 99.5% |
| 全学計 | 857 | 800 | 93.3% | 781 | 97.6% |
| (参考)前年度全学計 | 961 | 861 | 89.6% | 825 | 95.8% |

①「就職率」…就職希望者に占める就職者の割合。

②「就職者」…正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者。

③「就職希望者(求職者)」…卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者。

④調査時点は平成30年5月1日現在。

<今年度就職活動の見通し>

平成31(2019)年大学卒業予定者の就職活動は3月1日に企業説明会が始まりました。一部の業界における人手不足などを背景に企業の採用意欲は高い状態が続いており、売り手市場の就職活動は継続する見通しです。一方で、メガバンクでは業務のデジタル化に伴って採用抑制の方針が打ち出されるなど、事務系人材の採用ニーズは低下する傾向にあります。

企業の高い採用意欲はインターンシップにも表れています。就職白書2018によると、平成29(2017)年度にインターンシップを実施した企業は68.1%と、前年度より8.7ポイントも増加しています。本来インターンシップは、主に大学3年生が長期休業中などに企業で行う就業体験を通じて、職業観を養成する目的で行われるものですが、近年は企業側の採用目的でも実施されています。インターンシップを実施する企業は平成30(2018)年度も増加が見込まれており、早い段階から採用選考が動くことが推測されます。

本学においても、マネジメント学部や観光コミュニティ学部が2年生の段階で、授業の一環としてインターンシップを実施しています。また、就職課主催のATOMIインターンシップは平成10(1998)年より継続して実施し、学生のキャリア意識の向上を図っています。

さらに、昨年度からは、課題解決型学習プログラムであるPBL(project-based learning)を3年生対象に実施しています。PBLは、企業が提示する課題について学生チームで解決策を考えるプログラムで、課題解決を通じて社会人基礎力を育成する企画です。このPBLを今年度は3年生だけでなく、対象を1・2年生にも拡大して実施します。1・2年生という早い段階から社会人と接触することで、企業を研究する視点や社会人としてのマナーなどを身につけ、将来の就職活動につなげることをねらいとしています。

昨今、「人生100年時代」ということが言われており、将来的に人間の生き方や働き方は変わっていくでしょう。これまでの80歳程度という平均寿命を前提に考えられてきた3つの人生ステージ、『教育を受ける』『仕事をする』『引退して余生を過ごす』というライフコースは変化を余儀なくされるでしょう。学生の皆さんには大学生活を送るなかで、本学のキャリア支援プログラムを活用して、少しずつでも意識して将来の生き方を考えてほしいと思います。将来の生き方を考えるために自分自身を客観的に見直し、社会と積極的に関わることは、就職活動につながります。人生100年時代になっても社会に必要な人材になれるよう、将来の生き方を意識的に考えてみてはいかがでしょうか。



インターンシップ事後報告会



OGと話そう(OG懇談会)



メイク講座

国際交流活動の紹介

平成29年度春期海外研修終了報告

平成29年度春期海外研修が実施されました。イギリス（参加者：12名、期間：2月11日～3月27日）、アメリカ（参加者12名、期間：2月11日～3月7日）、ドイツ（参加者：1名、期間：2月11日～3月12日）のいずれの研修とも、参加した学生全員が有意義な時間を過ごし、無事に帰国しました。

スターリング大学（イギリス）での研修を終えて

観光コミュニティ学部 観光デザイン学科3年 大塚 美穂

初めての海外研修だったので、英語を話せるか、友達が出来かどうかなど、渡航前は不安だらけでした。しかし現地での生活は毎日が新しい刺激と発見ばかりで、不安はいつの間にか大きな意欲に変わっていました。All Englishの授業と、現地の学生に日本語を英語で教えた経験が英語力向上に大きく繋がったと感じます。また、この研修を通して切磋琢磨し合える素晴らしい仲間に出会う事が出来ました。ここでの経験と思い出は私の一生の財産です。



ローワーコロンビアカレッジ（アメリカ）での研修を終えて

マネジメント学部 マネジメント学科2年 宇都宮 智子

私は、この研修に参加するまで英語は嫌いで、日本から出ないから英語を勉強する必要はない、と思っていました。しかし、現地ではだれもが英語を話していて、英語なんて誰にでもできることだ、ということに気づきました。ホストファミリーや現地の学生と会話をしていくにつれて、少しずつコミュニケーションがとれるようになりました。今後は、英会話サロンに通い英会話の力をつけて、またLCCの研修に参加したいです。



ミュンヘン大学（ドイツ）での研修を終えて 文学部 人文学科2年 本田 恵

凍えそうなくらい寒いなか、研修は始まりました。何もかもが初めての文化。不安で胸がいっぱいでした。ホームステイなんて私にはできない！と最初は思っていたのですが、毎日過ぎていくうちにその不安はいつの間にか消えていました。学校での授業も、授業というよりはゲーム感覚の時間が多くてとても楽しかったです。



英会話サロンのご案内

〈開室案内〉

新座キャンパス/【場所】1号館1階インフォメーションセンター

【時間】月～木、12:15～13:45

文京キャンパス/【場所】2号館3階M2306教室

【時間】月・火・木・金、12:00～13:30

文京・新座の両キャンパスでは、ネイティブの先生と学生が自由に会話できる“跡見英会話サロン”が用意されています。授業ではなく、好きな話題で楽しくおしゃべりすることで、生きた表現や会話の応用力が身につく、自然に英語でのコミュニケーション力がアップします。海外研修の準備として集中的に利用する、あるいは毎日通って英語に慣れる……等、使い方は自分次第。多くの学生が、このサロンで英会話力を磨いています。



〈先生の紹介〉



■ Name: Alex Frane (USA)

■ Message:
Learning how to have conversations in English can open many doors, from making international friends, to studying abroad, to future job opportunities! Please join us and let's have fun speaking English!



■ Name: Levent Akyol (Turkey)

■ Message:
"Learning another language is like becoming another person."
--- Haruki Murakami
Come to Atomi Eikaiwa Salon and see how our friendly team can help you improve your English communication skills.

【海外研修のご案内】

跡見学園女子大学では、毎年度、夏と春の長期休業中に海外研修を実施しています。

語学の力を伸ばしたい、海外で生活したいなど、海外研修に興味のある方は、是非国際交流課までお問い合わせください。

国際交流課 TEL：048-478-3334 E-mail：d-kokusai@atomi.ac.jp

〈研修先一覧〉

| 研修先 | 言語 | 期間 |
|--------------------|-------|-----------|
| イギリス スターリング大学 | 英語 | 夏期 4.5週間 |
| | | 春期 6.5週間 |
| アメリカ ローワーコロンビアカレッジ | 英語 | 夏期 3.5週間※ |
| | | 春期 3.5週間 |
| カナダ ロイヤルローズ大学 | 英語 | 夏期 4週間☆ |
| フランス 西部カトリック大学 | フランス語 | 夏期 4週間 |
| 台湾 国立政治大学 | 中国語 | 夏期 3週間 |
| ドイツ ミュンヘン大学 | ドイツ語 | 春期 4週間 |

※アメリカ・ローワーコロンビアカレッジ（夏期）研修は平成30年度のみ催行。
☆カナダ・ロイヤルローズ大学研修は平成30年度末催行。

留学の記

文学部 現代文化表現学科 教授 富川 淳子

2017年4月から1年間、ニューヨーク州立のFashion Institute of Technology (FIT) に留学する機会をいただきました。ここで取り組んだ研究のひとつは大学におけるファッションキュレイトーの育成についてです。FITの大学院には「Exhibition Design」、「Fashion and Textile Studies: History, Theory, Museum Practice」という展示会やファッション展のキュレイトー育成を目的とする2つのコースがあり、これらの授業に参加して教育内容を調査することができました。同時にこのコースの教員からの指導のほか、FIT 付属の美術館やメトロポリタン美術館、ニューヨーク州立美術館のファッションキュレイトーに取材を重ねました。職業としての歴史も浅く、先行研究が限られているこの分野の研究はインタビューに頼らざるを得ません。実際に一流のファッションキュレイトーが活躍している地で研究生活を送れたことは有意義でした。跡見学園女子大学の厚い支援に深く感謝いたします。

さらにもう一つの研究テーマである日米のファッション誌の違いの調査も着手。アメリカのファッション誌は政治家インタビューや社会問題など頻りに掲載しますが、日本ではこのような例は稀です。流行情報提供をコンセプトにしている雑誌が政治問題をなぜ扱うのか。その要因についてのインタビューも刺激的な体験でした。日米ファッション誌比較研究は日本に蓄積がないため、この6月には出版学会の求めにより成果を発表する予定になっています。

文学部 コミュニケーション文化学科 教授 奥田 洋子

平成29年4月から一年間、客員特別研究員として英国ケンブリッジ大学のクレア・ホールというカレッジに留学させて頂きました。クレア・ホールは長い歴史を誇るケンブリッジ大学の中では歴史が浅く、20世紀後半に創立された客員特別研究員40名・大学院生70名の小規模な大学院大学ですが、名誉教授の中にはノーベル賞受賞者も含まれています。研究課題はジョウゼフ・コンラッドという夏目漱石と同世代の英国の小説家の作品中に認められる情緒の概念で、修士課程から変わっていません。変わったのはむしろ学界の方で、文学における情緒の研究は20年ほど前から注目され始め、今日では「情動研究」という名のもとに、特に欧米では研究者が増え続けています。私としてはこのような研究分野が生まれる前から自分の興味のある課題を研究して来ただけでしたが、気が付いたら「情動研究」の流れの中に巻き込まれていたという次第です。留学中に計4回の学会発表をし、その結果、私のこれまでの研究が初めて認められたことが最も大きな成果だったと思います。それも自然環境に恵まれ、仲間が家族のように接してくれたカレッジ、そして資料に富むばかりでなく居心地満点の大学の中央図書館のおかげだと思っています。

このような機会を与えて下さいました跡見学園女子大学に心よりお礼申し上げます。今回の研究成果は単著として出版する予定です。

マネジメント学部 マネジメント学科 准教授 高橋 聖子

一年間、早稲田大学に国内留学をさせて頂きました。本学に奉職致しましてから10年以上の年月が経ちました。その期間に、私の専門領域においては会社法の改正、ガバナンスコードやスチュワードシップコードの公表等が行われました。会社法は、現実の社会との繋がり強い法領域であるため、政治や経済状況によって、その方向性が変更されることが多くあります。近年の国内外の事象の影響を受け、日本社会は変わりつつあります。そのような中で、近年の会社法にかかわる一連の動きについて、熟考する機会を与えて頂きましたことに深く感謝致します。

留学中には、大きく分けて三つの研究をさせて頂きました。第一に、近年の米国における商品取引規制について研究を行いました。共著として出版予定の本にまとめさせて頂きました。第二に、「非公開取締役会設置会社の代表取締役を総会決議でも定め得る旨の定款規定の効力」について判例研究を行い、東京商法学会での発表の後、評釈をまとめ平成29年9月発行の「法律のひろば」誌に掲載されました。この判例を含む株主総会の権限についての研究は、今後も継続の予定です。第三に、ガバナンスコードやスチュワードシップコードについての研究を行いました。こちらにつきましては、近日中にマネジメント学部紀要に投稿の予定です。学んできたことを講義に生かしつつ、今後も研究を続けていく所存でございます。

跡見学園女子大学機関リポジトリについて

跡見学園女子大学ではこれまで「SUCRA」(埼玉大学機関リポジトリ)を通じて学術情報を発信してきましたが、平成30年3月1日より独自の機関リポジトリを立ち上げました。

「機関リポジトリ」とは、大学における教育・研究活動等の成果物を収集し、電子的形態による恒久的な蓄積・保存を行い、ネットワークを通して学内外に無償公開・還元するシステムです。国立情報学研究所の資料によると、日本では平成29年3月の時点で681のリポジトリが構築されており、世界全体の18%をしめるリポジトリ大国となっています。

本学では現在、跡見学園女子大学刊行の紀要等に掲載された論文および記事を中心に公開しています。URLを記載しますのでご覧ください(跡見学園女子大学ホームページ、跡見学園女子大学図書館ホームページにもリンクがあります)。

跡見学園女子大学機関リポジトリ <https://atomi.repo.nii.ac.jp/>

ゼミ紹介

小板橋ゼミ

マスメディアの表現を身近なものに
～わかりやすく、論理的に～

文学部 コミュニケーション文化学科 教授 小板橋 靖夫

社会におけるコミュニケーションには、論理的で的確な「話しことば」が必要です。話しことばは書きことばよりも多く出現するのに、日本人は、書きことばを偏重してきました。NHKで、アナウンサー・インタビュアー・取材制作の現場を経て、後進を育成し、放送用語の調査・報告を担当してきた講師としては、考えさせられます。

このゼミでは、自分の考えを音声言語で伝えるには、どういう用語選択でどういう構成で話せばよいかを、マスメディア（とくに放送）のことばの選び方・組み立て方をおして学びます。具体的には、「論理的な話しことば（と書きことば）」「きき手に正しく早く伝わる情報発信」「相手の話をよく聴き、改善点を的確に指摘する」「ことばは生き物であり変化するという実態」「ことばや漢字表記の使い分け」「漢語多用による同音異義語の弊害」「若者ことば」「現代では憧れともなる“方言”」などです。輪読する素材は、単行本、調査資料、ことばに関する論文・記事などで、レジュメ1枚のみによる発表（10分前後）と、発表内容・態度に対するゼミ生からの質問・評価で進めます。

ゼミ生は、互いに相手を認めて向上するヒントを与えあい、自分の意見を伝えることに慣れてゆきます。

山澤ゼミ

マネジメント学部 マネジメント学科 教授 山澤 成康

山澤ゼミは「経済分析」をテーマにしています。経済活動を身近に感じてもらうため、実際に株の取引を行っています。株式会社はその企業を応援してくれる人（株主）のお金使って運営しています。私たちが株を選ぶ際も、「応援したい気持ち」が最も大事だと思っています。

ディズニーランドを経済学の視点からみる研究も行っていきます。ディズニーランドがなぜ人気があるのか、ディズニーの映画はなぜヒットするのかを考えます。年に2回桜美林大学、早稲田大学と合同で研究発表会を開催しています。

もう一つ力を入れているのが紫祭での模擬店です。目的はずばり「いかに儲けるか」です。学生はいかに安く売るかにこだわる傾向があります。消費者目線の考え方です。しかし、企業を運営するうえでは、「いかに良いものを売るか」という考え方が大事です。

合宿など授業外での活動も活発です。山澤ゼミは、よく仲の良いゼミだと言われます。その理由を考えると、それぞれの学生が個性に応じてそれぞれの役割を演じているからではないかと思っています。



矢野ゼミ

観光コミュニティ学部 コミュニティデザイン学科 教授 矢野 峰生

発足してから今年度で4年を迎えるコミュニティデザイン学科と同様、矢野ゼミも、初めて全学年にゼミ生を迎えることになりました。どの学年も、明るく元気なゼミ生で華やいています。矢野ゼミでは、多様な人との出会いから、本人の気づかなかった新たな視点や魅力を見出すことを重視しています。そのため、4月中旬に、学年を越えて交流できる「矢野ゼミ懇話会」を開催しました。学年を越えたゼミ生同士の初めての交流機会の創設でした。ゼミ生には、自主性を大切に、他者を思いやることを忘れずに、個の魅力を伸長するよう促しています。これは地域資源の再発見と活用を主軸としたコミュニティの在り方を探るゼミのテーマと関わっています。すなわち、地域資源の持つ魅力の伸長や、再発見等に必要な概念の整理、現場への取材や体験を通じて、ゼミ生自身が人と人をつなぐ魅力ある人間になれるよう意識して頂いているからです。専門ゼミでは「地域ブランド」「インスタ映え」等近年の地域活性化の動向や社会現象に注目しています。そのため、ゼミ生は、専門ゼミに入ると早速にマーケティングにおけるニューウェイブの概念について学修しています。ゼミ生には、多様な街や地域を対象に、新たな知見を見出せる楽しみを享受して頂きたいです。



前場ゼミ(文学部臨床心理学科)

心理学部 臨床心理学科 専任講師 前場 康介

私のゼミでは、普段私たちが何気なく用いている「言葉」に注目した心理学研究をメインとして行っています。例えば、「運動や健康的なダイエット行動を開始・継続するために効果的なメッセージの伝え方にはどのようなものがあるか?」「気分が落ち込んでいるとき、こころの中で呟く言葉にはどのような影響があるか?」「言葉によって生じる誤った推論がどのような影響を及ぼすのか?」など、幅広い内容が挙げられます。言葉は私たちの生活と切り離せないものであるため、ゼミ生の皆さんも身近なテーマで卒業研究を考えることができている。このゼミでは、理論や技法ありきではなく、ゼミ生それぞれが日常生活で抱いた素朴な疑問を何より大切にしています。その疑問には様々なものがありますが、彼女たちの新鮮な発想にいつも驚かされています。こころの現象の解明は大変難しく、1つの卒業研究から得られる知見は小さなものかもしれません。しかし、ゼミ生各自が卒業研究を通してこころを科学し記述する過程を経験することで、自分自身のこころをこれまでとは違った方向から見てみることに繋がると考えています。そして、そのことが社会へ旅立っていく学生たちの1つの強みとなってほしいと、常に願っています。

学生会情報

平成30年度 学生会本部 会長 福井 奈々子

ごきげんよう。青葉若葉の候、皆様いかがお過ごしでしょうか。新たな環境での生活にも慣れ始めた頃と思います。

私たち学生会本部も、学生会長に福井菜々子（現代文化表現学科3年）、副会長に大塚岬（マネジメント学科2年）と安田二千花（コミュニケーション文化学科2年）の3名が選出されたと共に、新たな役員を迎え、新体制で日々活動に取り組んでいます。今年度もより良い環境づくりやイベントの企画等、様々なことに挑戦する濃い1年にしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

私どもは現在、この新メンバーで毎年行われる「学生総会」に向けて着々と準備を進めております。学生総会と同時に開催されていた「学長と語る会」は、今年度から少し形を変えて、「学長との懇話会」として開催いたします。学生会費がどのように使用されているかを皆様にお伝えする大切な場であり、皆様が通う跡見学園女子大学について、学長先生とお話ができる大変貴重な機会です。この会の開催により、皆様の大学生活はより充実したものになることでしょう。

今しかない大学生活を皆様に楽しんで頂けるよう、今後とも努力して参ります。それでは、皆様の積極的なご参加を学生会本部一同、心よりお待ちしております。

CLUB Now

書道部

ごきげんよう！跡見学園女子大学書道部です。書道部では、週二回の練習会や年二回の展覧会、書道を通して他大学と交流するなど充実した活動をしています。新座キャンパスでは水曜・金曜四限後、文京キャンパスでは火曜・木曜四限後に練習会を行っています。8月に行われるゆかり展、11月の紫祭にて行われる書作展に向けて作品制作をします。書道部は、東京学生書道連盟に加盟しています。東京学生書道連盟とは、跡見学園女子大学、慶應義塾大学、國學院大学、東京女子大学、日本女子大学、法政大学、明治大学、立教大学、早稲田大学の9大学からなる学生書道団体です。合同練習会や、展覧会、合宿などを通して交流を深めています。興味のある方は経験の有無に関係なく、ぜひ書道室に足を運んでください！部員一同お待ちしております！



地域交流活動へのお誘い - 多様な形での関わりが強い連携を生み出す -

地域交流センター長 土居 洋平

本学に地域連携専門部署ができて4年目に入りました。この間、大学内で行われている地域連携活動を把握するなかで、ゼミ、サークル、学部学科単位の有志での集まり、地域交流センターからの直接の呼掛けなど、実に多様な形の活動があることがわかってきました。

コミュニティの議論で良く指摘されることですが、多様な形の小さなコミュニティがあることが、その緩やかなつながりで形成される大きなコミュニティを強くします（内山、2012、pp.57-58など）。その観点から言えば、地域交流センターに求められていることは、この多様な形の交流連携活動を、多様なままで支援をできるような仕組みづくりと言えるでしょう。センターでは現在、その支援ための仕組みづくりを進めていますが、その仕組みそのもののご案内は次号以降で報告させて頂くとして、以下に、昨年度から引き続き予定されている文京区内の活動を紹介します。それぞれの活動は、上述の多様な形で行われていますが、その活動に新たな団体や個人が参加されることも大いに歓迎しております。また、文京区内や本学と包括連携協定を締結した地域での新たな活動のご提案なども随時受け付けております。本学の地域連携活動が多様な形で更に展開すべく、地域交流センターも体制を整えていきたいと思っております。皆さまのご協力を、心よりお願い申し上げます。

昨年度の主な活動（※今年度も同様の活動が予定されているもの）

| 開催日 | 活動名称 | 内容 |
|------------|--------------------|--------------------------------|
| 通年開催 | 旧伊勢屋質店の一般開放 | 文京区本郷の樋口一葉ゆかりの質店の公開 |
| 6月上旬・10月下旬 | 小石川マルシェ | 小石川で開催されるこだわりのマルシェへの出店・運営のお手伝い |
| 7月上旬 | ふれあいカフェ | 地元高齢者との交流カフェイベント |
| 6月下旬・7月下旬 | ゆかた着付け教室 | 地元の協力を得てゆかたの着付け方を学ぶ |
| 7月下旬 | 文京朝顔・ほおずき市 | 礪川地域のお祭りの運営に協力・学生が出店 |
| 8月下旬 | 文京区防災フェスタ | 防災の啓発活動 |
| 8月下旬 | ハッピーベジタブルフェスタ | シビックセンターで行われる食育イベントに出店 |
| 8月下旬 | 跡見ウィンドオーケストラ部ミニ演奏会 | 文京区総合福祉センター 子育てひろば |
| 9月下旬 | 母子救護所開設訓練 | 文京キャンパスでの母子救護所の開設訓練 |
| 10月下旬 | 健康まち歩き大会 | 高齢者とともにキャンパス付近、文京区内を散策 |
| 11月中旬 | リアン文京福祉まつり | 学生による食品の模擬店出店 |
| 11月中旬 | 文京博覧会 | シビックセンター内でパネル展示の出展 |
| 11月下旬 | いきいきシニアのつどい | シビックセンターでの高齢者向けイベントに学生が協力 |
| 12月上旬、1月中旬 | かるた関連事業 | 文京区内中学校のかるたイベントに学生が協力 |
| 不定期 | 大塚警察防犯ボランティア | 痴漢防止のキャンペーンへの協力 |
| 不定期 | B-ぐるバス | 沿線協議会と学生が車内DVDを制作（年間3本） |

※ 上記の活動以外にも、文京区内や包括連携協定締結自治体内での交流・連携活動を更に展開したいと考えています。皆様のご協力を、宜しくお願い申し上げます。

参考文献 内山節+21世紀社会デザインセンター、2012、『内山節のローカリズム原論 新しい共同体をデザインする』農山漁村文化協会

平成30年度入学試験を振り返って

入試部長 中島 伸次

平成30年度入学試験は、本年4月に開設した心理学部が、学部独立後、初めて募集を行った入試でした。全体の入試結果は非常に好調で、総志願者は4,226名(昨年度3,111名)となり、昨年と比較すると、全学部全学科で1000名以上志願者が増加しました。心理学部においても、設置届出後の平成29年10月からの募集という制約があったにもかかわらず、志願者は増加しました。

主な特徴は次の通りです(カッコ内は昨年度実績)。

- ①入試種別ごとの志願状況を見ると、推薦入試・特別選抜379名(368名)、AO入試298名(236名)、一般入試3,549名(2,507名)と、すべての入試区分で志願者を増やしています。特に一般入試での志願者増が目立ちます。
- ②入試種別ごとの志願者割合は、推薦入試9.0%(11.8%)、AO入試7.1%(7.6%)、一般入試83.9%(80.6%)であり、依然として一般入試志願者が多く、全体の5分の4を占めています。
- ③学部別の志願者数では、文学部1,742名(1,217名)、マネジメント学部1,146名(849名)、観光コミュニティ学部902名(648名)、心理学部436名(395名：文学部臨床心理学科)となり、すべての学部で大幅な志願者増となりました。
- ④一般入試では、本学で独自試験を行うA・B・C方式の志願者が合計で2,056名(1,211名)、センター利用入試の志願者がⅠ期・Ⅱ期・Ⅲ期合計で1493名(1,296名)となり、特に独自試験を行う一般入試で志願者が大幅に増えています。

今年度、一般入試において志願者が大幅に増加したのは、各大学での入学定員厳格化の動きが背景にあります。あわせて本学の教育内容や学生支援サービスの手厚さが評価されたものと考えております。引き続き、平成31年度入学試験では、一般入試の募集割合を増やしていくと同時に、本学の特色と魅力の発信に努め、学生募集にさらに注力していく所存であります。

平成30年度入学試験結果

●学部1年次

| 学 部 | 学 科 | 募集定員 | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 |
|--------------|-------------|------|-------|-------|-------|
| 文 | 人文 | 160 | 775 | 757 | 471 |
| | 現代文化表現 | 120 | 465 | 459 | 264 |
| | コミュニケーション文化 | 110 | 502 | 492 | 273 |
| | 学部計 | 390 | 1,742 | 1,708 | 1,008 |
| マネジメント | マネジメント | 180 | 840 | 823 | 447 |
| | 生活環境マネジメント | 80 | 306 | 302 | 179 |
| | 学部計 | 260 | 1,146 | 1,125 | 626 |
| 観光 コミュニティ | 観光デザイン | 120 | 560 | 552 | 271 |
| | コミュニティデザイン | 80 | 342 | 338 | 262 |
| | 学部計 | 200 | 902 | 890 | 533 |
| 心理 | 臨床心理 | 120 | 436 | 423 | 248 |
| | 学部計 | 120 | 436 | 423 | 248 |
| 合 計 | | 970 | 4,226 | 4,146 | 2,415 |

●学部3年次

| 学 部 | 学 科 | 募集定員 | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 |
|--------------|-------------|------|------|------|------|
| 文 | 人文 | 若干名 | 1 | 1 | 1 |
| | 現代文化表現 | 若干名 | 1 | 1 | 1 |
| | コミュニケーション文化 | 若干名 | 1 | 1 | 1 |
| | 学部計 | — | 3 | 3 | 3 |
| マネジメント | マネジメント | 若干名 | 2 | 2 | 2 |
| | 生活環境マネジメント | 若干名 | 1 | 1 | 1 |
| | 学部計 | — | 3 | 3 | 3 |
| 観光 コミュニティ | 観光デザイン | — | — | — | — |
| | コミュニティデザイン | 若干名 | 0 | 0 | 0 |
| | 学部計 | — | 0 | 0 | 0 |
| 合 計 | | — | 6 | 6 | 6 |

●大学院

| 研究科 | 専 攻 | 募集定員 | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 |
|--------|--------|------|------|------|------|
| 人文科学 | 日本文化 | 8 | 2 | 2 | 1 |
| | 臨床心理学 | 12 | 45 | 45 | 17 |
| | 研究科計 | 20 | 47 | 47 | 18 |
| マネジメント | マネジメント | 10 | 1 | 1 | 1 |
| | 研究科計 | 10 | 1 | 1 | 1 |
| 合 計 | | 30 | 48 | 48 | 19 |

Open Campus オープンキャンパスのご案内

オープンキャンパスでは、在学生や教職員による個別相談コーナーや、在学生がガイドになってキャンパスを紹介するキャンパスツアーなど、大学の雰囲気を知ることができる様々な企画を用意しています。ぜひご参加ください。



在学生による個別相談の様子



キャンパスツアーの様子

実施予定企画

大学説明／入試説明／専任教員による個別相談／在学生による個別相談／体験授業／学食体験／キャンパスツアー／等

個別の大学見学も随時受け付けております。ご希望の方は入試課(TEL:048-478-3338)までお気軽にお問い合わせください。

Open Campus Schedule

6/24(日) 【文京キャンパス】

7/22(日) 【新座キャンパス】

7/29(日) 【文京キャンパス】

8/5(日) 【文京キャンパス】

8/19(日) 【文京キャンパス】

9/30(日) 【新座キャンパス】

11/3(土) 【新座キャンパス】

11/4(日) 【新座キャンパス】

11/25(日) 【文京キャンパス】

*開催時間 10:00~15:00(受付9:30~)

*11月3日・4日は祭典(大学院)と同時開催

大学見学デー

9/1(土) 【新座キャンパス】

9/8(土) 【新座キャンパス】

*詳細は大学HPでご確認ください。

心理学部設立記念シンポジウム 開催

5月20日(日)跡見学園女子大学文京キャンパスプロッサムホールにおいて、「跡見学園女子大学と臨床心理学—その未来へ」と題して、心理学部設立記念シンポジウムが開催されました。

ご登壇のシンポジストは、跡見学園女子大学文学部臨床心理学、大学院臨床心理学専攻の立ち上げ、基礎固め、さらに心理学部へと多大なご尽力を頂いた3人の先生方です。平木典子先生(元日本家族心理学会会長 現IPI統合的心理療法研究所顧問、跡見学園理事)からは、「(大学院)専攻立ち上げの理念と未来への期待」と題して、立ち上げ当初の、基本的な実力をつけるための様々なカリキュラムの工夫に加えて、心理学部の

未来にむけて「関係性」「多元性」「汎用性」の重要性と、世界の心理支援の最先端の動向について、ご示唆いただきました。野島一彦先生(跡見学園女子大学心理学部長、前日本心理臨床学会理事長、元日本人間性心理学会理事長、日本で初めての国家資格である公認心理師の設立を指導者として牽引された)は、「未来に向けた4つのキーワード」と題して、跡見学園女子大学における専門職養成の大きな枠組みとしての4つの特徴—「多様性」「異文化交流」「連結」「地域貢献」を挙げ、現在試みている様々な活動を整理していただきました。最後に鶴光代先生(東京福祉大学心理学部教授、同大学院心理学研究科科長、元跡見学園女子大学教授、現日本心理臨床学会理事長、日本で初めての国家資格である公認心理師の設立を指導者として牽引された)からは、「心理専門職の連携・協働力を育てる」と題して、跡見花蹊先生と鶴先生の不思議なご縁のお話に始まって、公認心理師に求められる「連携」「協働」の重要性とその実践の難しさ、さらには医療の領域において実践されている「多職種連携コンピテンシー」を高めるための「専門職連携教育」をご紹介いただきました。その後、フロアとの質疑応答も丁寧にいただき、時間となりました。

特に、興味深かったことは、本シンポジウムで、名実ともに日本の心理臨床界を代表する3人の先生方の共通点が、多元性(平木先生)、多様性(野島先生)、多職種間の連携(鶴先生)であったことです。3人の先生方のキーワードの頭に全部「多」がついています。これは決して偶然ではないと感じました。世界はDiversity(多様性)に向かって進んでいます。この歴史的流れは誰にも止めることができないエネルギーを内包している、ダイナミックなものです。平木先生が跡見ご就任の前にお勤めになられていた日本女子大学では、4人の指導教員の演習(ゼミ)を履修する必要があったとのこと。また、クライアントを「自身の悩みに関する専門家(この多元的な視点!)」という視点で捉えることの重要性も強調されておられました。野島先生は学生のトレーニングにおける多様性(理論の多様性、学



○平木典子先生

(元日本家族心理学会会長 現IPI統合的心理療法研究所顧問、跡見学園理事)



○鶴光代先生

(東京福祉大学心理学部教授、同大学院心理学研究科科長、元跡見学園女子大学教授、現日本心理臨床学会理事長)



○野島一彦先生

(跡見学園女子大学心理学部長、前日本心理臨床学会理事長、元日本人間性心理学会理事長)

習形態の多様性、臨床技法の多様性)を論じられました。鶴先生は、専門職連携教育の一つとして某大学のプログラムを紹介下さいました。そのプログラムでは医学部、看護学部、薬学部から構成される3~4人のグループで形成される演習・実習が必修とされているとのこと。そのプログラムには大変驚かされました。「多」の視点が基本的概念として具現化されたプログラムでした。本シンポジウムで一貫して論じられた「多」の重要性を改めて噛みしめました。

大学からは、笠原清志学長、神山伸弘副学長にも挨拶して頂き、全体として「跡見学園女子大学心理学部」の今後に向けて大きなエールを感じることであったシンポジウムでした。

会の終了後、文京キャンパス9階多目的ホールにおいて、懇親会が行われました。東京タワー、スカイツリー、富士山を眺めながら、イシカワカズ副学長の挨拶に始まり、なごやかな雰囲気の中、日ごろお世話になっております、窪田彰先生(錦糸町クボタクリニック理事長)、久住智治様(文京区企画政策部長)、宇佐神潔先生(土浦日本大学中等教育学校)、梅澤志乃様(株式会社ジャパンEAPシステムズ)、倉光洋平様(青少年健康センターひきこもり支援事業管理部長)、大学院修了生でもある大野奈美様(特定非営利活動法人ポコ・ア・ポコ理事長)ならびに丸山陽子様(埼玉県臨床心理士会理事)から、温かいお祝の言葉を頂戴し、山下陽枝様(校友会会長)のお言葉にて中締めとなりました。ご参加いただきました皆様、誠にありがとうございました。跡見学園女子大学心理学部は、まだ走り出したばかりですが、スタッフ一同力を合わせて、進んでいく所存です。引き続き、お力添えの程よろしく願いいたします。

(文責：松奇くみ子・宮崎圭子)



シンポジウム後に行われた 懇親会の様子

◆ 行事予定 ◆

| | | |
|-----|--|--------------------------------|
| 7月 | 17日(火)~26日(木) | 授業評価期間 |
| | 26日(木) | 春学期通常授業終了 |
| | 7月27日(金)~ 8月2日(木) | 春学期定期試験期間 |
| 8月 | 3日(金) | 春学期定期試験予備日・追試験日 |
| | 4日(土)~31日(金) | 夏季休業日(集中講義等あり) |
| | 8月4日(土)~ 9月3日(月) | 夏期海外研修 (英国・スターリング大学) |
| | 8月6日(月)~ 9月4日(火) | 夏期海外研修 (フランス・西部カトリック大学) |
| | 6日(月)~25日(土) | 夏期海外研修(台湾・国立政治大学) |
| 9月 | 1日(土)~15日(土)、 18日(火)~20日(木)、 22日(土)~26日(水) | 補講期間(集中講義等あり) |
| | 2日(日)~26日(水) | 夏期海外研修 (アメリカ・ローワー・コロニアカレッジ) |
| | 21日(金) | 9月期卒業式(於・文京キャンパス) |
| | 27日(木)~28日(金) | 秋学期オリエンテーション期間 |
| 10月 | 1日(月) | 秋学期通常授業開始 |
| | 1日(月)~4日(木) | 秋学期1次履修登録申請期間 |
| | 9日(火) | 秋学期1次履修登録(抽選結果)発表 |
| | 9日(火)、10日(水) | 秋学期2次履修登録申請期間 |
| | 13日(土) | 秋学期2次履修登録(抽選結果)発表 |
| | 13日(土)、15日(月) | 履修登録訂正期間(窓口受付) |
| 11月 | 3日(土)、4日(日) | 紫祭 |

2018年3月

『跡見花蹊——女子教育の先駆者』
刊行!

2018年3月31日、花蹊先生の評伝である『跡見花蹊——女子教育の先駆者』がミネルヴァ書房より刊行されました。著者は泉雅博先生、植田恭代先生、大塚博先生です。

教育者でもあり、書画の教育を重んじる芸術家でもあった花蹊先生が、幕末から明治、大正の時代をどのような志を持って生き抜き、今日の跡見学園にどのようにその思いが受け継がれていったのか、豊富な史料をもとに紐解いた1冊となります。学生の皆さん、またOGの皆さんには是非1冊お持ちいただきたい書籍です。

一般書店ほか、Amazon・楽天ブックスなどのネット書店でもお買い求めいただくことが可能です。



資料館コレクション

鳩舎

須田国太郎(1891-1961)

制作年 1949年頃 油彩 一紫会寄贈作品

須田国太郎は京都大学で美学・美術史を専攻した画家です。第三高等学校に入学した頃から独学で油絵を描き始めていましたが、絵画の道へは進まず大学では哲学科に籍をおきドイツ美学の研究に没頭します。最初の個展が資生堂画廊(東京・銀座)で開かれたのは、1932年41歳のときのことです。「絵で食べていくことは容易ならんことだ」とは画家自身の言葉です。



このいわば「遅咲きの画家」須田が生涯を通じて取り組んだ画題に「動物」があります。豹や鷲、牛や馬、駝鳥や鴨、犬や猫といった多彩なモチーフが扱われています。1939年6月、左京区南禅寺草川町に転居した須田は、近くの京都市記念動物園(現京都市動物園)に毎日のように通いスケッチに勤しんだといえます。戦後のあるインタビューで、「昔は猛獣の音が聞こえたか」という問いにつきのように答えていました。「今でも孔雀の鳴き声がよう聞こえますな、ちっとも苦にはなりません……」

資料館収蔵の《鳩舎》は、中央に四羽、そして上部に足がわずかに覗く三羽の鳩を捉えた作品。左下の二輪の薔薇は鳩の足の葡萄色に呼応しています。「生命」を捉えた須田の動物画は、「真昼の暗」とも呼ばれる重厚な山並みを写した一連の風景画とはちがって、命あるものの躍動を伝える絵画といえることができるでしょう。

(花蹊記念資料館館長 村田宏)

平成30年度 心理教育相談所講習会

【新座キャンパス】

| 実施日 | 時間 | 講座 | 担当者 |
|---------|-------------|-------------------------------|------|
| 7/10(火) | 10:40~12:10 | こころを癒すー怒りを癒すー | 宮崎圭子 |
| 7/18(水) | 10:40~12:10 | こころとからだを癒すー健康的な生活習慣を身につけるヒントー | 前場康介 |
| 7/27(金) | 10:40~12:10 | ひきこもり青年の理解と対応 | 板東充彦 |
| 9/20(木) | 13:00~14:30 | 介護負担感、介護力、レスパイトケアについて | 阿部洋子 |
| 9/29(土) | 10:40~12:10 | 子どもの感情コントロールとトラウマ・ケア | 新井 雅 |

● 編集後記 ●

4月から、笠原新学長が就任し、役職者も一部交代しました。いつもと少し違う新たな一年のはじまりです。